

関東短期大学：教員免許状更新講習シラバス用紙

講習科目名	子どもの変化についての理解																	
時 間 数	3時間	講習形態	講義 ・ 演習															
主な受講対象者	幼稚園教諭及び小学校教諭																	
担当教員	渡辺 敏正																	
キーワード	脳機能、発達障害、子どもの変化																	
講習の到達目標	科学的に見た脳機能に関する概要を理解している。 LD、ADHD等の発達障害に関する概要を理解している。 子どもの生活状況の変化と発達について理解している。																	
講習の概要	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見を概観しながら、発達障害の行動的特徴について学ぶ。また、近年の子どもの生活変化が発達に及ぼす影響についても考察する。																	
講習計画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 脳機能の成熟と発達 ①中枢神経系 ②神経系の機能と構造 ③胎児の発達とストレス </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 45%; text-align: center; vertical-align: middle;">30分</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 2. 発達障害 ①発達障害の概要 ②発達障害各論 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">30分</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 3. 特別支援教育の課題 ①特別支援教育の意義 ②発達障害への支援 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">30分</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 4. 子どもの生活 ①心身の変化 ②遊びの変化 ③変化への対応 </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">60分</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">試験</td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">30分</td> </tr> </table>			1. 脳機能の成熟と発達 ①中枢神経系 ②神経系の機能と構造 ③胎児の発達とストレス	}	30分	2. 発達障害 ①発達障害の概要 ②発達障害各論	}	30分	3. 特別支援教育の課題 ①特別支援教育の意義 ②発達障害への支援	}	30分	4. 子どもの生活 ①心身の変化 ②遊びの変化 ③変化への対応	}	60分	試験		30分
1. 脳機能の成熟と発達 ①中枢神経系 ②神経系の機能と構造 ③胎児の発達とストレス	}	30分																
2. 発達障害 ①発達障害の概要 ②発達障害各論	}	30分																
3. 特別支援教育の課題 ①特別支援教育の意義 ②発達障害への支援	}	30分																
4. 子どもの生活 ①心身の変化 ②遊びの変化 ③変化への対応	}	60分																
試験		30分																
成績評価の観点	脳機能の概略を理解している。発達障害の概要と行動的特徴を理解している。子どもの心身の変化に関する課題について理解している。																	
教材・参考文献	配布プリント																	
受講生に望むこと	コミュニケーションのあり方や行動について、気になる子どもを理解するとともに、指導のあり方について考えてほしい。																	
備 考																		